



「ELL」を活用し、幕張と鎌倉本社をつないだライブセッションを展開

ミハル通信「ELL Lite」出展

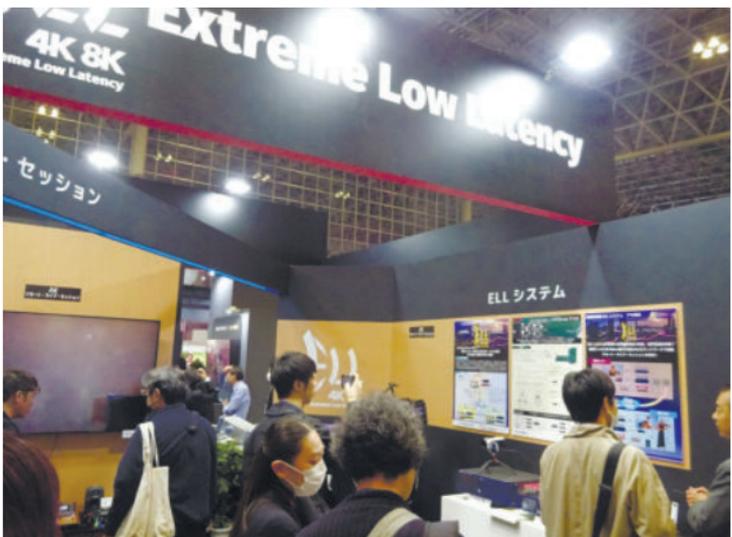
幕張⇄鎌倉間でライブセッション

ミハル通信は、自社開発した極超低遅延映像圧縮伝送システム「ELL (Extreme Low Latency)」を活用したリモートライブセッションのデモを実施。Inter BEE会場である幕張メッセと同社の本社がある神奈川県鎌倉市をネットワークでつなぎ、両会場で異なる楽器を弾いて画面を通じたライブ・セッションを実施するという大胆なデモを展開し、「ELL」システムの持つ極超低遅延のポテンシャルを来場

超低遅延伝送をデモ

者にアピールした。「ELL」システムは、世界最高水準の極超低遅延で8K/4K映像を伝送できるシステム。今回

のセッションでは、両会場に「ELL 8Kエンコーダー/デコーダー」を配置して映像の相互折り返しをするともに、M



ミハル通信の展示ブース

ADIおよびDanteに対応した非圧縮音声の極超低遅延伝送を可能とする「ELL Lite」(開発中)を用いて、ズレのない映像・音声伝送によるライブ・セッションを実現した。

同社の担当者は「約50キロ離れた幕張と鎌倉で同時に楽器演奏をして、違和感を覚えさせることなくライブ・セッションを実現できるのは、遅延量を10〜15ミリ秒に抑えた「ELL」のポテンシャル。開発中の「ELL Lite」により、音

声についても遅延を感じさせないリアルタイム伝送を実現できるようになった」説明していた。